

世界の国や地域と協力して解決をめざす海洋プラスチックごみ問題

プラスチックなどの海洋ごみは、海にくらす生き物に悪影響を及ぼしたり、海を移動する船のさまたげになるなど、国内外でさまざまな問題を引き起こしています。2019年に開催されたG20大阪サミットでは、海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにすることをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有され、世界の国や地域において、海洋プラスチックごみに対する取り組みが進められています。



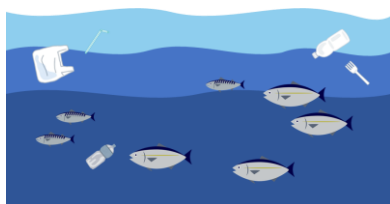
出典:外務省ホームページ

? なぜ世界の国や地域と協力するの? 対策をしないとどうなるの? ?

世界では、1年におよそ800万トン(京セラドーム約7個分)のプラスチックごみが海へ流れ出ているといわれています。プラスチックは、自然の力ではなかなか分解されません。海に流れるプラスチックごみが、このまま増え続けると、2050年には、海に浮かぶプラスチックごみの重さが、世界中の海で泳ぐ魚の重さを上回ると予測されています。

2024年

10~11歳



2050年

36~37歳



海の生き物への影響~アオウミガメの例~

2020年11月に高知県の定置網に迷いこんで保護されたアオウミガメが、海遊館(大阪市)に運びこまれました。このウミガメは、搬入から20日たってもえさを全く食べませんでした。そのころから、レジ袋や食品の容器包装などのプラスチックごみの排泄がみられ、1~2日おきに合計16日間で21gものプラスチックを排泄しました。排泄がみられなくなるのに2か月ほどかかりました。

ウミガメは、海藻やクラゲをえさにします。海中に浮かぶポリ袋などのごみをちぎれた海藻やクラゲと間違えて食べたのではないかと考えられます。



排泄されたプラスチックごみ



元気になったウミガメ

2022年10月に高知県の海に帰って行きました

出典:海遊館

マイクロプラスチックを増やさないためにできること

プラスチックは、太陽の熱や紫外線などの働きで割れてくだけてしまします。大きさが5mmより小さくなったプラスチックを「マイクロプラスチック」といいます。マイクロプラスチックは、とても小さいので、海岸で拾い集めてすべてを回収しようとしても、現実には不可能です。



<海岸に流れついたプラスチックごみ>

また、目に見えないほど小さくくだけたとしても、プラスチックは、なかなか自然分解されないため、海の中や大気中に残り続けます。

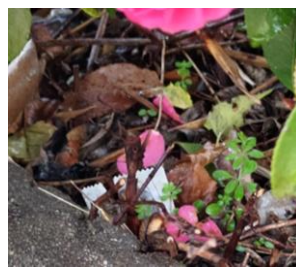
そのため、マイクロプラスチックになる前にプラスチックごみを回収することや、プラスチックごみを出さないようにすることが大切です。

身の回りをよく観察しよう

公園



<ごみ箱からあふれるごみ>



<花壇に捨てられたおかしな袋>

気付かいうちにマイクロプラスチックが発生していることも…



ちりとり

洗濯ばさみ



散水ホース
リール

屋外で使われるプラスチック製品は紫外線などの影響で劣化しボロボロにくだけてしまう

道路



<ごみ集積場で散乱するごみ>



<道路にポイ捨てされたタバコ>

※タバコのフィルターはプラスチックでできている

わたしたちにできること

- ✓ ごみ箱に入らないごみは持ち帰る
- ✓ ポイ捨てをしない
- ✓ ごみを出す日や時間を守る
- ✓ 屋外で使うプラスチック製品は定期的に確認し劣化する前に交換する

さらにこんなことも。



冊子「プラスチックごみ問題」の5ページも参考にしてみてください！

大阪・関西万博でのプラスチック対策 ～さまざまな取り組みの積み重ねで、ごみを削減！～

2025年の4月から10月にかけて開催された、大阪・関西万博。約2,902万人が来場し盛況の中閉幕しましたが、たくさんの方が活動する分、何も対策しなければ大量のプラスチックのごみが排出されると推計されていました。

そこで、大阪・関西万博の実施主体である博覧会協会※1は、リユース食器の利用、使い捨て買い物袋の削減、マイボトルの持ち込みの推奨や給水機の設置など、ごみの削減対策に取り組みました。多くのお店や来場者が協力・実践したことで、推計を大幅に下回るごみ排出量に抑えることができました。

一人ひとりの小さな取り組みも、力を合わせれば大きな効果が生まれます。

自分にできることは何か考え、積極的に実践してみましよう。

特典の対策をとらなかった場合の
プラスチックごみの排出量(推計)※2

1181.3トン

実際のプラスチックごみの排出量※2

627.6トン



<リユース食器返却所>



<給水機の例>

※1 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会のこと。
※2 「ペットボトル」「ペットボトルキャップ」「発泡スチロール・発泡トレイ」「プラスチック類」の合計

写真提供:公益社団法人2025年日本国際博覧会協会